

平成27年度の各会計決算を審査する決算特別委員会(高橋勤委員長、内舘桂副委員長・9月14日～16日)での質疑(Q)と答弁(A)のいくつかを要約して紹介します。

# 質疑 あれこれ

## 基金の今後は

**Q** 平成27年度末の基金残高は財政調整基金が77億円となっている。このことへの所見と見通しは。

**A** 財政調整基金は数年度にわたって増額となっているが、実質収支が見込みにくい。新市建設計画をもとに見直しを立てているが平成36、37年度では60億円ぐらいとなるのではない。

## 地域協議会の開催状況は

**Q** 地域協議会における意見に対しての対応は。

**A** 平成27年度の地域協議会の開催状況は、大迫8回、石島谷は4回、東和地域においては5回、各々開催している。行政と情報共有しながら各地域での取り組みを進めている。

## マイナンバーで市の負担増

**Q** マイナンバー導入事業で市の負担増となっている要因は。

**A** システム改修等のかで、国の補助対象経費として認められなかったものが予定より多くなったためである。

## 高齢者住宅改造補助額の増は

**Q** 住宅改造の補助件数の実績以上に需要があると聞いているが、自宅での生活に対し、もう少し支援が必要になるのではない。

**A** 花巻市の単費補助は難しく、予算がなくなった時点で県へ要求し対応しているが、十分な措置をしてもらえない状況。今後検討しながら県予算を配分してもらえようように要求、要望していく。

## 民生委員の状況は

**Q** 民生委員の欠員の状況と新しい民生委員の推薦状況は。

**A** 定数は246名、地区担当が120名、主任児童委員が26名、欠員はない。現在の任期が11月30日までとなっており、

## 定住促進事業の周知状況は

**Q** 定住促進事業の中で、県外から市内に定住するUIJターン者に対する補助が目標20に対し2件であったが、事業の周知状況について伺う。

**A** 平成27年度からの事業であり、ホームページのほか、不動産会社や建築業者にチラシを配布して周知を図った。今後は情報提供の方策を広げて

PRに努めていく。

## 女性消防士は

**Q** 女性消防士の数と今後見込まれる育児休業等への対応を検討しているのか伺う。

**A** 今年9月に消防学校を卒業する1名を合わせ、3名が在籍している。他の消防本部での育児休業の実施を鑑みながら考えていきたい。

## 消防無線の通話状態は

**Q** 台風10号では県内の沢沿い集落が孤立し被害が出たが、昨年整備された消防救急デジタル無線の通話状況は確認しているか。

**A** 基地局整備時の机上シミュレーションにより、山岳地域の沢沿いで不感地帯があったことから、携帯電話通信事業者の通信網を活用するIP無線機を配備したほか、携帯型トランシーバーも配置して対応している。

## 不登校児童生徒は

**Q** 不登校児童生徒とも割合が増となっている要因を伺う。

**A** 平成27年度の出現率は、小学校が0.20%、中学校が1.89%である。個人に起因する不登校もあるが、家庭との連携が困難であるために不登校に陥って長期化するという状況である。また、子供を取り巻く環境が変わり、多様化・複雑化している



健康管理は健診から

次期民生委員がまだ決まっていないところが3地区4名である。

## ピロリ菌検診事業は

**Q** ピロリ菌検診が行われたが、対象人数と受診者数、陽性で医療機関を受診した人数は。

**A** 対象者が4786名、受診者が2067名、受診率43.2%、陽性者が271名(13.1%)である。

## ごみ資源化の取り組みは

**Q** 花巻市のごみの排出量が多いが、これを減らすための資源化の取り組みは。

**A** 市民の理解を深めるため、ごみの分別説明会を27振興センターで実施

る。途中経過だが、220名が医療機関を受診している。

## 医師配置状況は

**Q** 県による市町村医師養成事業に当市も拠出しており、今年度から医師が配置されたが、その配置状況は。また、総合花巻病院に配置する制度改正の議論の現状は。

**A** 4月から16名が8つの県立病院に配置され、中部管内においては中部病院に3名が配置となった。運用の見直しについて昨年来要望しており、県内全市町村へのアンケート調査を9月中旬に取りまとめると聞いている。

## 有害鳥獣駆除の成果は

**Q** 有害鳥獣対策の成果について、捕獲数と被害面積の捉え方の解釈は。

**A** 被害防止計画に基づいた捕獲数の計画地に対

したほか、公民館や自治会単位での説明会を42カ所で行った。紙類の分別や生ごみの水切りなどを強調した。



装備点検を行う女性消防士

ことが要因であると考えている。

## 学校給食に地場産品を

**Q** 学校給食に地場産品をどれくらい活用しているのか、また、地場産品の活用を基本としているか伺う。

**A** 平成26年度で45.4%である。農林部あるいは関係機関等と協議しな

## 教科書の採択は

**Q** 学校教科書にまつわる騒動が報道されていたが、本市の実態を伺う。

**A** 検定前の教科書を現場の教職員に見せて何らかの見返りをということが話題になっているが、本市では関与はない。



松くい虫で枯れる樹齢100年を越す松の木(大迫町外川目)

しての実績値を成果の判断としている。被害額は増えているが、捕獲等は進んでいるとの判断である。

## 松くい虫対策は

**Q** 大迫地域での松くい虫の駆除の状況と拡大防止の検証は。

**A** 大迫地域の駆除量は233立方メートル。県に対し花巻の実態を説明している。国県の補助事業、ただけで対応できないものについては市単独事業等も活用し進めている。

## 工業団地の今後は

**Q** 市内の工業団地の空きが少なくなり誘致企業の進出の妨げになっていないか。

**A** 工業団地の分譲率は7割を超えており、不足感は認識している。企業の要望に応え得る新たな団地整備に向け、検討を進めている。